

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

当施設を利用する団体の指導者で仲間作りに興味のある方が、当施設で指導を行う際に、効果的な指導を行い、活動の目的を達成するために、講義・演習を通して、技術や指導法を習得する。

2. 事業の概要

（1）期日

第1回【体験会】 平成29年10月21日（土）～22日（日）1泊2日

第2回【指導者講習会】平成30年 1月13日（土）～14日（日）1泊2日

（2）参加者

①募集対象・人数

当施設を利用する団体の指導者及び興味のある方・16人

②参加者

第1回 11人

第2回 11人

（3）講師

（株）プロジェクトアドベンチャージャパン トレーナー 杉村 厚子 氏

（株）プロジェクトアドベンチャージャパン トレーナー 高野 哲郎 氏

（4）企画・運営のポイント

- ① 仲間作りの活動のため用具や設備を保有しているが、その活用が不十分なことから、チーム作りについての知識や技術を普及啓発して、活用の機会を増やしたいと考え、この事業を立ち上げた。第1回を体験会として開催し、チーム作りとはどのようなものかを中心に学び、第2回は指導者講習会として開催し、実践に向けたスキルアップとした。そして今後は指導者として登録して、当施設のエレメント等を使って指導できる体制を整えることを目標としている。
- ② チーム作りについて深い知識と高い技術をもっているPAJ（プロジェクトアドベンチャージャパン）から、第1回、第2回とそれぞれ講師に来ていただくことで、初心者から登録を目指す指導者まで継続的な指導をしていただいた。

3. 活動の内容等

(1) 日程

第1回【体験会】

10月21日(土)		10月22日(日)	
9:00	受付	6:45	起床・洗面・掃除
9:30	開会式	7:45	朝のつどい
10:00	講義・演習①(アイスブレイク他)	8:00	朝食
12:00	昼食	9:00	講義・演習④(ローエレメント 他)
13:00	講義・演習②(イニシアチブ他)	12:00	他)
17:15	夕べのつどい	13:00	昼食
17:30	夕食	16:00	講義・演習⑤(体験学習サイク ル他)
18:30	講義・演習③(ビーイング他)		閉会式
20:00	入浴		
21:00	懇親会		
22:00	就寝		

第2回【指導者講習会】

1月13日(土)		1月14日(日)	
12:30	受付	6:45	起床・洗面・掃除
12:50	開会式	7:45	朝のつどい
13:00	講義・演習①(アイスブレイク他)	8:00	朝食
17:15	夕べのつどい	9:00	講義・演習③(ローエレメント 他)
17:30	夕食	12:00	昼食
18:30	講義・演習②(体験学習サイクル 他)	13:00	講義・演習④(指導者視点での 質疑応答他)
20:00	入浴	16:00	閉会式
21:00	懇親会		
22:00	就寝		

(2) 活動状況

第1回



【アイスブレイク】



【イニシアチブゲーム】



【イニシアチブゲーム】



【振り返り】

第2回



【理論の学習】



【アイスブレイク】



【イニシアチブゲーム】



【安全面についての理解】



【ビーイング】



【イニシアチブゲーム】

4. 成果・課題

(1) 満足度

第1回 満足：100% 第2回 満足：100%

(2) 参加者の声

第1回【体験会】

- ① 基礎からしっかり学べて良かった。
- ② 目標が共有できた上で活動に取り組めたことが良かった。
- ③ チーム作りの理論について学べただけでなく、交友関係を広げることができた。ここでの出会いを大切にしたい。

第2回【指導者講習会】

- ① 実際に自分でもファシリテートしてみた後にも、もう一度受けてみたいと思ったプログラムだった。
- ② 体験に中心が置かれていて、参加する人との意識が同じような状態で始められたのが良かった。
- ③ 体験の主体と指導者としての視点を行ったり来たりしながら進められたので分かりやすかった。
- ④ 学校現場やスポーツの指導現場、地元のボランティア仲間などで活用できそうだったと思った。

(3) 成果

- ① PAJの講師から、豊富な知識や高い技術力を活かした指導をしていただいたので、参加者の満足度が非常に高かった。PAJの講師が来所されるということで、参加を申し込まれた参加者も多くいた。
- ② 第2回の指導者講習会を終えてすぐに、実践する講習修了者がいた。普及啓発を目指しているので、今後も国立吉備青少年自然の家での実践を促していきたい。

(4) 今後の課題

- ① 募集人数に満たなかったため、裾野を広げるためにも広報活動に力を入れたい。特に、仲間作りを重要視している学校や団体に広報し、参加者を増やしていくことが重要と考えている。
- ② 普及啓発のためには、国立吉備青少年自然の家に来所してもらい、チームビルディングの知識や手法を見てもらう必要がある。そのためには、やはり広報活動が重要になってくるので、まずは来所団体に紹介していく。さらに、自分でファシリテートしてみたいと思ってもらえるように、我々企画指導専門職の力量を上げていくように研鑽を積むことが必要だと考えている。

担当：企画指導専門職 瀧田 正宏